

学校通信 令和5年 3月24日 No. 20

# 鼓ヶ浦 (つづみがうら)

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校

TEL:386-5852 FAX:386-4663

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhtsudumigaura/>

## めざす学校像

「来てよかった、  
明日も来たい」  
と思う学校

## 修了式にあたって

本日で、令和4年度の全ての学習活動が終わりとなります。修了するにあたり、1年生・2年生全員の進級を認めます。この一年間、本当によく頑張ったと思います。

明日からいよいよ春休みに入ります。そして、春休みが終わると、新しい学年、新しいクラス、新しい担任の先生との出会いとなります。皆さんの新しい一年間の活躍を大いに期待したいと思います。

さて、4月から新入生を迎える皆さんに、期待することを3つ伝えます。

第一は、「尊敬される先輩になってほしい」ということです。尊敬される先輩とは、礼儀の意味が分かり、時と場に応じた適切な行動や発言ができる先輩です。部活動や学校行事など全ての場面で頼りになる先輩で、常に後輩の成長を願う先輩です。自分にはどのような行動ができるか、自分で考えてみてください。

第二は、「信頼される先輩になってほしい」ということです。信頼される先輩とは、どんな時も互いに励まし合い、高め合い、協力を惜しまない先輩です。後輩に対し、分け隔てなく、助言や協力をしてくれる先輩です。後輩の内面的な良さを理解し、後輩の成長を心から願い、ある時は厳しく、ある時は優しく接してくれる先輩です。自分はどのように行動すべきか、自分で考えてみてください。

第三は、「愛される先輩になってほしい」ということです。愛される先輩とは、どんな時でも互いの存在を、強さも弱さも持ち合わせた生身の人間として、丸ごと肯定的に受け止めることができる先輩です。

人にはそれぞれ個性があります。全員が違った個性を持っています。違った個性を持った皆さんと、これから入学してくる後輩が同じところで毎日学ぶ、それが学校というところです。個性や立場を理解し合うことが、お互いの心を開くことにつながります。愛されるというのは、尊敬や信頼の心から生まれてくるものです。自分はどういうように行動すべきか、自分で考えてみてください。

春休み中に少しだけ時間を取って、自分はどういう先輩になることができるか、考えてほしいと思います。

最後に、2年生・3年生に進級するのですから、4月からの授業内容は当然難しくなります。朝の学習や読書もすぐに始まるでしょう。春休みは、次の学年に進級するための準備期間ですので、休み中の取り組みはとても大切です。今年度の学習を復習し、理解が不十分であったところを必ずやり直しましょう。

新年度の始業式で、全員が元気な顔を見せてほしいと思います。

(修了式 校長講話より)

私事ではありますが、3月31日をもって定年退職となります。これまで38年間、教員生活を続けてこられたのは、お世話になった各学校の保護者の皆様、地域の方々、同僚、教職員、そして何より私に元気をくれた多くの生徒たちのおかげだと感謝いたしております。

4月から着任いたします新校長にも私同様、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校長 井上 久

# 令和5年度 前期生徒会役員決まる

3月14日(火)、令和5年度前期生徒会役員選挙が行われ、6名の執行部役員が決定しました。立候補者と推薦者の演説は、どれも4月からの鼓ヶ浦中学校生徒会を任せても大丈夫だと感じさせる立派な内容でした。卒業した3年生もきっと、このような後輩ならば、と安心してくれることでしょう。

相田みつをさんの言葉に『花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根は見えねえんだなあ』というのがあります。

花とは、皆さんが鼓ヶ浦中の代表として活躍する事、一人ひとりが良さを発揮して頑張っている姿の事です。その活躍を支える枝があり、幹があり、根があること。そしてその根は土の中にあって隠れている、そんな様子を言っている言葉だと思います。見えないところで鼓ヶ浦中学生の活躍を支える根っこの人、それが生徒会役員の皆さんだと思います。

植物は、良い土があってこそ大きく育ちます。鼓ヶ浦中学校の全ての生徒が、根を支える良い土となって、役員さんたちをフォローして欲しいと思います。



## ～生徒会役員の皆さんから～

<会長：佐野 杜音>

・当選したことを嬉しく思っています。改めて会長になってみると、希望と不安で胸がいっぱいです。生徒会で協力し合い、口だけでなく行動にうつせる人だということを証明し、この学校をより楽しくしてみせます。

<副会長：宮崎 蓮珠>

・当選した今の気持ちは、とにかくうれしいという気持ちが1番で、それと同時に特に自分は決選投票だったので、その人の分まで頑張っていこうと思いました！これからどんな学校にしていくかという、まずは選挙で言った2つの「野望」を叶えていき、会長や執行委員の人たちと一緒にこの学校を本当に見たことない学校にしていきたいです。

<執行委員：柴田 くるみ>

・私は2度目の立候補で念願の生徒会に入ることが出来ました。今の気持ちは嬉しさと期待で一杯です。私は執行委員として公約に書いたことをたくさん実現出来たらいいなと思っています。また、私に無い発想をアンケートなどで学び今後に生かしていきたいです。同じ生徒会のメンバーと共に多くの行事等で盛り上げて、笑顔がさらにあふれる学校を実現できるように頑張っていきます。

<執行委員：水野 望愛>

・信任投票でも落ちたらどうしようと考えていたから、当選して嬉しいし、しっかり学校を引っ張っていこうと思った。体育祭では、保護者の方にも見ていただき、楽しいと思えるような最高の体育祭にしてみせます！

<執行委員：後藤 拓人>

・生徒会の執行委員になることができ、今とても嬉しい気持ちです。だけど、これからちゃんと仕事ができるのかと不安な気持ちもあります。そのため僕は、会長や副会長、僕以外の執行委員と協力して乗り越えていけるように頑張りたいと思っています。

<執行委員：山下 翔央>

・生徒会執行委員に選ばれ嬉しい気持ちだけど、これから一学期の学校を会長さん副会長さんと支えてまとめていくことが本当に自分で大丈夫かと不安な気持ちもあります。生徒会になってほしいことは、体育祭を盛り上げることです。最後の体育祭になるから誰でも楽しめる体育祭をつくりたいです。